

神奈川県内出土の弥生時代金属器（2）

—銅製品集成—

弥生時代研究プロジェクトチーム

はじめに

前回は神奈川県内出土の弥生時代から古墳時代前期の鉄器集成を行ったが、今回は神奈川県内出土の銅製品集成を行い、データの蓄積を図ることとした。

集成にあたって、前回と同様に、器種の消長と画期をより明らかにする上では弥生時代に限定せず古墳時代前期までの動向を押さえる必要があることから、集成範囲を弥生時代から古墳時代前期（前半）までとしたが、基本的に古墳出土資料は対象に含めていない。資料の所属時期は、各報告書報文における記述に基づいているが、一部表記方法を変えて記載したものもある。また遺物名についても、報告書掲載の名称を変更したものが若干ある。集成結果は第1表にまとめ、遺跡番号は第1図および第7～10図の遺物分布図と対応させている。遺物図は基本的に報告されている図を使用し、第2～6図に縮尺1/2に統一して掲載した（一部1/3で掲載）。第1表の「図番号」は第2～6図の遺物に付けた通し番号に対応し、「文献No.」は文末の文献一覧に付けた番号に対応している。データ集成は池田 治、櫻井真貴、新開基史、戸羽康一、渡辺 外で行った。本文は、今回は遺物分布の概略を記すのみとし、分担して執筆した。

（池 田）

神奈川県内の弥生時代青銅器概要

銅鏃（第2・7図） 弓矢の鏃として使用された製品である。神奈川県内では25遺跡39点（河原口坊中遺跡は個数未確認）が出土している。県内における分布範囲は、県東部（横浜・川崎）、三浦半島（横須賀・三浦・逗子）、県央部（藤沢・茅ヶ崎・綾瀬・海老名・厚木・伊勢原・平塚・秦野）、県西部（小田原）である。県央部の遺跡から数多く出土しているが、一遺跡から出土する数は1～2点と多くはない。一遺跡からの最大出土数は小田原市諏訪の前遺跡（46）の5点であり、真田・北金目遺跡群（38）の4点がこれに続く。遺存状態にもよるが、遺物の形態的な特徴として共通しているのは、いずれの銅鏃も有茎で中央部に稜を持ち、鏃身断面が菱形を呈する点である（9除く）。特筆されるのは、鏃身部に多数の孔を持ついわゆる多孔銅鏃である12・23と柳葉形を呈する9である。12・23については伊勢湾岸～東海地方に多くみられる形態である。9は前期古墳等の副葬品として発見されることが多く、住居址からの出土は希少である。

（戸 羽）

銅釧（第3・4・8図） 腕輪であるとみられる銅釧の現在までに確認されてた本県における出土例は、16遺跡59点である。図示した遺物の分布状況からみると、15点出土の真田・北金目遺跡群（38）と4点出土の原口遺跡（40）が存在する平塚市と、19点出土の根丸島遺跡（41）が存在する秦野市が群を抜き、さらに小田原市の千代遺跡群（44）にも6点の集中が見られる。このような点から、本製品は特定の遺跡や地域にある程度集中して存在する傾向が看取でき、全体的な状況としては、相模湾側から若干内陸寄りに比較的多く分布し、東京湾沿岸の分布状況は疎であるということが読み取ることが出来る。

（櫻 井）

銅環（第5・9図） 銅環は指輪状の製品で、大半が板状の青銅片を巻いて作られる。破片を含め15遺跡48点がある。全体として県内各地域に広く分布するが、第1図の青銅器出土遺跡全体の分布状況と比較すると、

足柄平野、相模川東岸、横浜・川崎市域北西部がやや空白地帯となっている。またいくつかの地域的なまとまりが見て取れ、それぞれの出土点数をみると、下末吉台地3遺跡(2・6・9)5点、三浦半島地域2遺跡(15・16)11点、境川水系(藤沢・鎌倉)2遺跡(19・21)7点、相模川中流域(海老名・厚木)2遺跡(25・28)2点、金目川水系鈴川周辺地域(平塚・秦野)4遺跡(35・36・38・41)20点、秦野盆地1遺跡(42)1点、足柄平野1遺跡(44)2点となる。三浦半島地域および鈴川周辺が突出して多く分布するが、これは、佐島の丘遺跡群高原遺跡、赤坂遺跡、真田北金目遺跡群、根丸島遺跡の各遺跡で大量に出土しているためである。そのほか水道山戸ヶ崎遺跡でも6点出土しており、発掘調査面積等の相違も勘案する必要はあるが、遺跡単位・小地域単位での出土量の差は明瞭であり、これは地域色・遺跡の性格の差を示唆するものであろう。(新開)

その他(第6・10図) 上記以外の青銅器としては、銅鏡や小銅鐸のほか、用途不明な銅製品が認められる。いずれも出土量としては僅少で、出土した遺跡の位置をみても県内各地に散在しており、特に集中分布等の偏りは認められない。筒型銅製品(102)は棒状のものに嵌め込んで留める構造になっている。小銅鐸は図示したものを含めて、県内での出土例が3点みられるが、鈕の構造や鐸の有無、型持孔の位置など細かな属性は個体毎に違っている。こうした青銅器の分布が認められない地域は、もともと弥生時代遺跡の確認例が少ない山間部であり、上記の銅鏃・銅釧・銅環のような器種とは違い、該期の遺跡全体にわたって希少な存在であることが分布の点からも窺われる。青銅器自体が神奈川県域における弥生時代の社会においてどのような存在であったかということは、各遺跡における出土事例についての分析を深化させることによって、追求し得るものであろう。(渡辺)



第1図 銅製品出土遺跡分布図[六十万分の一]

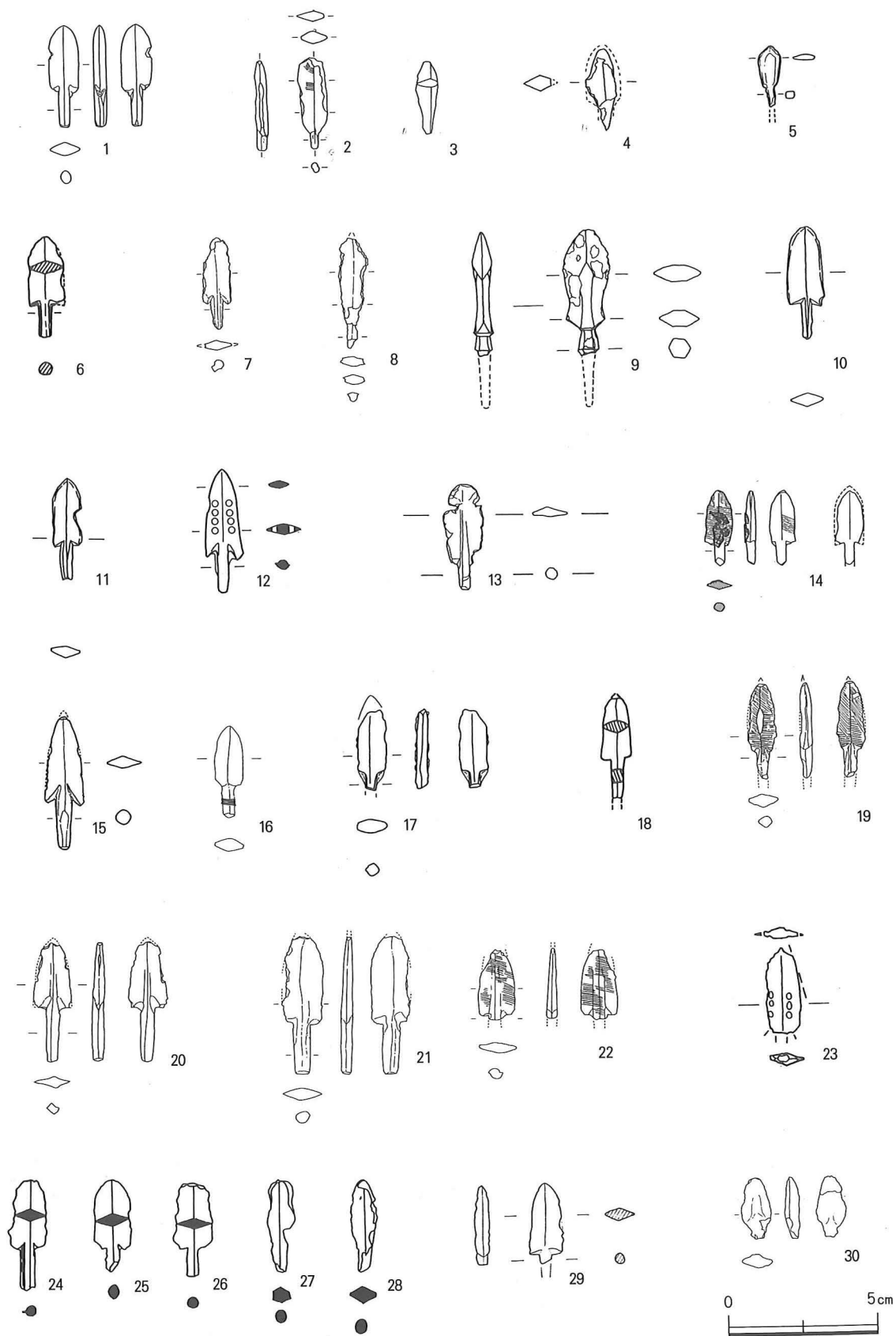
第1表 銅製品出土遺跡一覧表

市町村	遺跡番号	遺跡名	遺構名	遺物名	数量	時期	図番号	備考	文献No.
横浜市	1	梶山遺跡（第4次）	包含層	銅鏡	1	弥生末～古墳初頭	—		1
	2	新羽大竹遺跡	第7号竪穴住居址	銅環片	1	弥生後期	72		2
	3	関耕地遺跡	6号住居址	銅釧	1	弥生後期	31	完形品	3
	4	大場第2地区遺跡群No. 2地区	Y T-10号住居跡	銅鏡	1	弥生後期	—	未報告	4
	5	稲荷前古墳群	住居跡	銅鏃	2	弥生後期	—		5
	6	山王山遺跡	57号住居址	銅環	1	弥生後期	73		6
	7	明神台遺跡・明神台北遺跡	NY 7a号住居	銅鏃	1	弥生後期末	1		7
	8	横浜市道高速2号線No. 9遺跡 A地区	1号住居跡	銅鏃	1	弥生後期	2		8
	9	三殿台遺跡	306-C号住居跡	銅釧片	1	弥生後期	—		9・10
			306-C号住居跡	銅環	1	弥生後期	—	完形品	
			?	銅環	1	?	—		
			314-B号住居跡	銅環	1	弥生後期	—	完形品	
	10	そとごう遺跡	26号住居跡	銅鏃	1	弥生後期	3		11
川崎市	11	下原遺跡	第7号住居址	銅鏃	1	弥生末～古墳初頭	4		12
	12	宮前小台遺跡	SI-07	銅鏡	1	古墳前期	—	未報告	③
横須賀市	13	吉井貝塚（第1区）	表探	銅鏃	1		—		13
	14	住吉遺跡（N地区）	包含層	銅鏃	1	弥生後期	6		14
	15	佐島の丘遺跡群 高原遺跡	Y 61号住居跡	筒状銅製品	1	古墳前期前半	102		15
			Y 142号住居跡	銅釧片	1	弥生後期後半～古墳初頭	32		
			Y 154A号住居跡	銅環	1	弥生後期	77		
			Y 160号住居跡	銅環	1	弥生後期	75		
			Y 162号住居跡	銅環	1	弥生後期	78		
			Y 170号住居跡	銅環	1	弥生後期	76		
			Y 171号住居跡	銅釧片	1	弥生後期末～古墳初頭	33		
			Y 175号住居跡	銅釧片	1	弥生後期末～古墳初頭	34		
			Y 176号住居跡	銅環	1	弥生後期	74		
			Y 201A号住居跡	銅環片	1	弥生後期	80		
			Y 208A号住居跡	銅釧片	1	弥生後期後半～古墳初頭	35		
			Y 208B号住居跡	銅鏃	1	弥生後期後半～古墳初頭	7		
			Y 231号住居跡	銅環	1	弥生後期	79		
			Y 258号住居跡	銅鏃	1	弥生後期	8		
三浦市	16	赤坂遺跡（10次）	1A号住居跡	銅鏃	1	弥生後期	—	未報告	16
		赤坂遺跡（16次）	2号住居跡	銅鏃	1	弥生後期	—	未報告	
		赤坂遺跡（16次）	1号住居跡	銅釧片	1	弥生後期	—	未報告	
		赤坂遺跡（16次）	4号住居跡	銅釧片	1	弥生後期	—	未報告	
		赤坂遺跡（16次）	包含層	銅釧片	1	弥生後期	—	未報告	
		赤坂遺跡（16次）	2号住居跡	銅釧	1	弥生後期	—	有鉤銅釧・未報告	
		赤坂遺跡（14次B地点）	1F号住居址	銅環片	1	弥生後期	—	未報告	
		赤坂遺跡（10次）	1A号住居跡	銅環片	1	弥生後期	—	未報告	

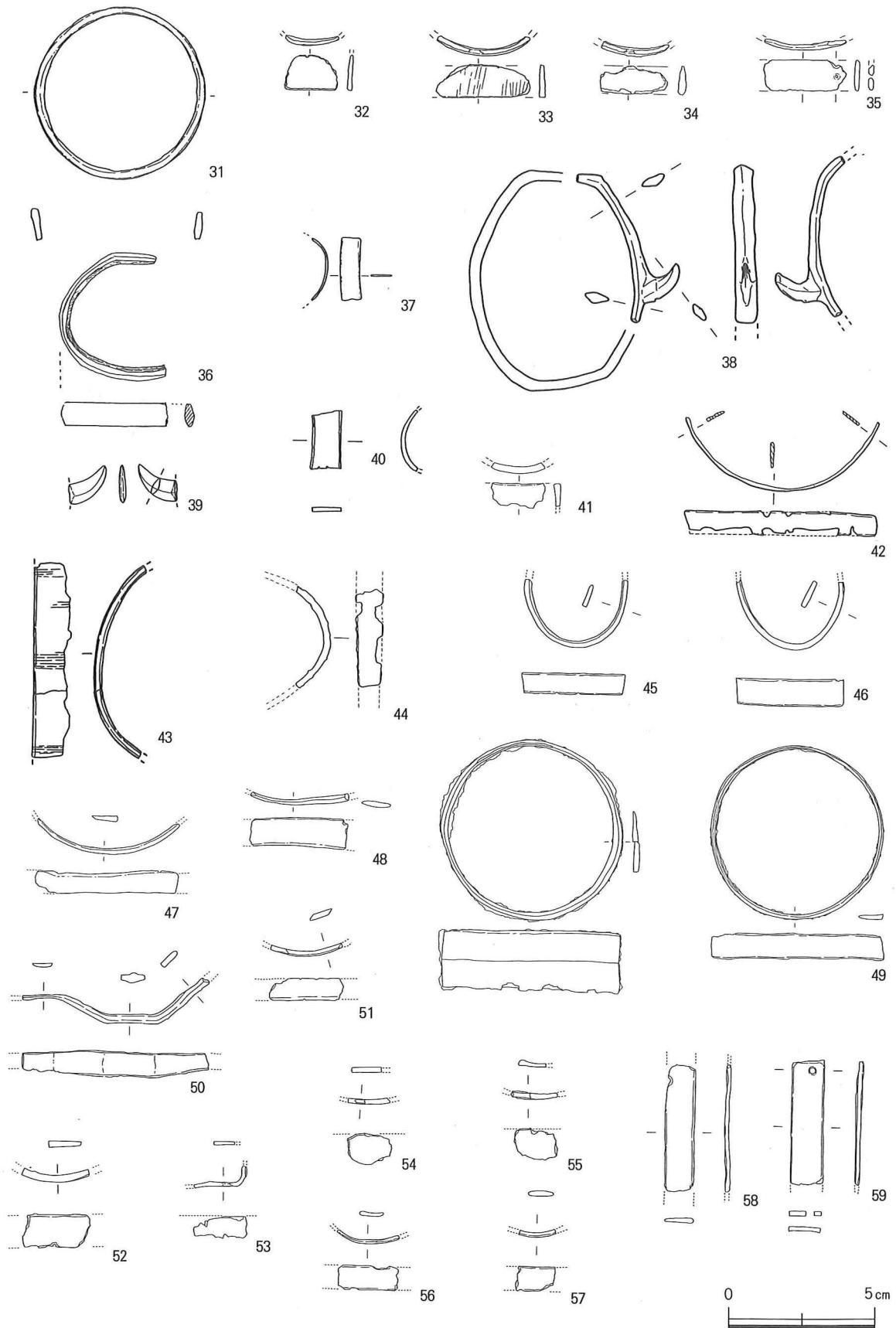
市町村	遺跡番号	遺跡名	遺構名	遺物名	数量	時期	図番号	備考	文献No.
三浦市	16	赤坂遺跡 (10次)	10号住居址	銅環片	1	弥生後期	—	未報告	16
		赤坂遺跡 (立教大調査)	Ⅲa住居跡	銅環片	1	弥生後期	—	未報告	
逗子市	17	持田遺跡 U区	第8号竪穴	銅釧	1	弥生後期	36	有鉤銅釧か	17
	18	池子遺跡群 No. 2 地点	第2号竪穴住居址	銅鏃	1	古墳前期	9	前期後半	18
		池子遺跡群 No. 2 地点	第2号竪穴住居址	銅鏡	1	古墳前期	98	前期後半	
		池子遺跡群 No. 6 地点	第1号竪穴住居址	用途不明品	1	弥生末～古墳初頭	105		
		池子遺跡群 No. 1-A 東地点	包含層	銅鏃	1	古墳前期～中期	5		20
		池子遺跡群 No. 1-A 東地点	包含層	銅釧片	1	古墳前期～後期	37		
		池子遺跡群 No. 1-A 地点	旧河道	銅釧	1	弥生末～古墳初頭	38	有鉤銅釧	21
鎌倉市	19	水道山戸ヶ崎遺跡	4号住居址	銅環片	4	古墳前期	—		22
			27号住居址	銅環片	2	弥生末～古墳初頭	—		
	20	手広八反目遺跡	第51号住居址	銅釧	1	弥生後期	39	有鉤銅釧	23
藤沢市	21	若尾山遺跡	12号住居跡	銅鏃	1	古墳初頭	10		24
			(古代住居跡)	銅鏃	1	弥生後期～古墳前期	11		
			包含層	銅環片	1	弥生後期～古墳前期	40		
	22	大庭城遺跡	住居跡	銅鏃	1	弥生後期	12	多孔銅鏃	25
茅ヶ崎市	23	七堂伽藍遺跡 (小出川河川改修事業関連)	包含層	銅釧片	2	弥生後期～古墳前期	—		26
綾瀬市	24	神崎遺跡	2号住居跡	銅鏃	1	弥生後期前半	13		27
海老名市	25	河原口坊中遺跡		小銅鐸	1	弥生後期	—	未報告	28
				銅鏃			—	未報告	29
				銅釧片			—	未報告	
				銅環			—	未報告	
	26	本郷遺跡	KA地区 2号住居跡	銅鏃	1	弥生後期後半	14		30
			DO地区 第25号住居址	小銅鐸	1	古墳前期	103		
厚木市	27	恩名仲町遺跡 第3地点	1号住居址	銅鏃	1		—	未報告	③
	28	宮の里遺跡	119号住居址	銅環	1	弥生後期	81		31
			遺構外	銅釧片	1		41		
	29	愛甲宿遺跡	第11号住居跡	銅鏃	1	古墳前期	15		32
伊勢原市	30	高森・宮ノ越遺跡	5号住居址	銅鏃	1	古墳前期	16		33
	31	成瀬第二地区遺跡群下糟屋C地区第2地点	102号住居址	銅鏡	1	古墳初頭	99		34
	32	下谷戸遺跡 (第1次)	101号住居址	銅鏃	1	古墳前期	—		35
			三ノ宮・下谷戸遺跡	銅鏃	1	弥生終末	17		36
平塚市	33	新町遺跡 第3地点・A地区	包含層	銅鏃	1		—	未報告	③
	34	上ノ入遺跡 第4地点	2号竪穴住居跡	銅釧片	1	弥生後期	42		37
	35	御所ヶ谷遺跡	包含層	銅環片	1	古墳前期?	18		38
	36	桜畑遺跡	客土層	銅釧片	1		43		39
			客土層	銅環片	1		83		
	37	五領ヶ台遺跡 第9地点	(古墳後期住居跡)	銅釧片	1		44		40
	38	真田・北金目遺跡群	8B区 S I O 3 4	銅釧	1	弥生末～古墳前期	79		41
			8B区 S I O 3 4	銅釧片	1	//	84		

市町村	遺跡番号	遺跡名	遺構名	遺物名	数量	時期	図番号	備考	文献No.
平塚市	38	真田・北金目遺跡群	8B区 S I 0 4 8	銅釧片	1		92		41
			8B区 S I 0 6 8	不明銅製品	1	弥生後期	58	銅釧片	
			8B区 遺構外	銅鏃	1		19		
			8C区 S I 1 0 5 6	銅釧	1	弥生後期	45		
			8C区 S I 1 0 6 3	銅釧	1	古墳前期	46		
			8C区 S I 1 0 6 5	銅釧片	1	弥生後期	55		
			8C区 S I 1 0 7 5	銅鏃	1		20		
			8C区 S I 1 0 7 7	銅釧片	1	弥生後期	56		
			8C区 S I 1 0 7 9	銅環片	1		93		
			8C区 S I 1 0 8 6	銅釧片	1		51		
			8C区 S I 1 0 8 6	銅環	2		85・88		
			8C区 S I 1 0 9 6	銅釧片	1	弥生後期～古墳前期	52		
			8C区 S I 1 0 9 8	銅環片	1		3E+99		
			8C区 S I 1 0 9 9	銅環	1		87		
			8C区 S I 1 0 9 9	銅釧	2		53・54		
			8C区 S I 1 1 0 0	銅環片	1		91		
			8C区 S I 1 1 0 3	銅釧片	1		57		
			8C区 S I 1 1 0 7	板状銅製品	1	古墳前期	59	銅釧の再利用	
			8C区 S I 1 1 1 4	銅環	1	弥生後期～古墳前期	86		
			8C区 P 1 2 1 2	銅釧片	1		50	有鉤銅釧	
			8C区 遺構外	銅鏃	2		21・22		
			8F区 S D H 5 0 0 1	銅釧	3	弥生後期	49	3連	
			12A区 遺構外	銅釧片	1	—	47		42
			30A・D区 S I 0 3 5	銅釧片	1	古墳前期	48		43
	39	広川・公所遺跡群 内沢遺跡	M-1 (河道)	小銅鐸	1	古墳前期	—	未報告	44
	40	原口遺跡	Y H 34号住居址	銅釧	1	弥生後期	60	完形品	45
			Y H 38号住居址	銅釧片	1	弥生後期	63・64		
			Y H 60号住居址	銅釧片	1	弥生後期	64		
			第1号方形周溝墓	銅釧	2	弥生後期	61・62	完形品	
秦野市	41	根丸島遺跡	198号住居址	銅鏃	1		—		46
			包含層	銅鏃	1		—		
			53号住居址	銅釧片	1		—		
			221号住居址	銅釧片	1		—		
				銅釧片	1		—		
			6号住居址	銅釧片	1		—		
			21号住居址	銅釧片	1		—		
			181号住居址	銅釧片	1		—		
			住居跡	銅釧片	1		—		
			?	銅釧片	1		—		
			332号住居址	銅釧片	1		—		

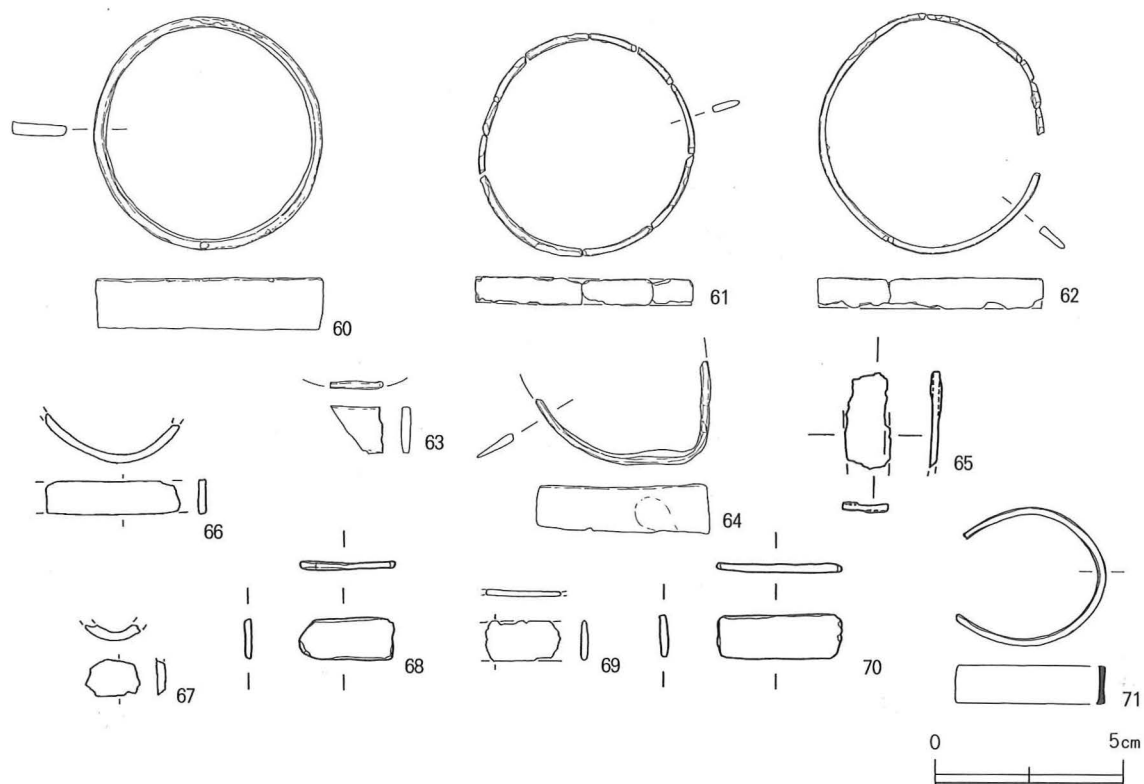
市町村	遺跡番号	遺跡名	遺構名	遺物名	数量	時期	図番号	備考	文献No.
秦野市	41	根丸島遺跡	住居跡	銅釧片	1		—		46
			164号住居址	銅釧片	1		—		
			87号住居址	銅釧片	1		—		
			住居跡	銅釧片	1		—		
			21号住居址	銅釧片	1		—		
			住居跡	銅釧片	1		—		
			58号住居址	銅釧片	1		—		
			198号住居址	銅釧片	1		—		
			住居跡	銅釧片	1		—	有鉤銅釧	
			221号住居址	銅釧片	1		—		
			?	銅環	2		—		
			249号住居址	銅環	1		—		
			249号住居址	銅環片	1		—		
			166号住居址	銅環	1		—		
			166号住居址	銅環片	1		—		
			171号住居址	銅環	1		—		
			202号住居址	銅環	1		94		
			155号住居址	銅環	1		—		
			146号住居址	銅環片	1		—		
			包含層	銅環	1		—		
			包含層	用途不明品	1		—	薄板折り重ね?	
	42	東田原中丸遺跡	SI-03	銅環	1	古墳前期	95		47
小田原市	43	永塚下り畑遺跡	(古代住居跡)	銅鏡	1	古墳前期	100		48
	44	千代光海端遺跡	1号住居址	銅環	1	弥生末～古墳初頭	96		49
		千代仲ノ町遺跡 第Ⅳ地点	4号住居跡	銅鏃	1	弥生後期	23	多孔銅鏃	50
			6号溝	銅釧片?	1		65		
		千代吉添遺跡 第Ⅰ地点	第6号住居址	銅釧片	1	弥生後期～古墳前期	68		51
			遺構外	銅釧片	1	弥生後期～古墳前期	70		
		千代南原遺跡 第Ⅴ地点	遺構外	銅環	1		97		52
		千代南原遺跡 第ⅩⅡ地点	第6号竪穴住居址	銅釧片	1	弥生後期	69		53
			第9号竪穴住居址	銅釧片	2	弥生後期	66・67		
	45	高田南原遺跡	包含層	銅釧片	1		71		54
			包含層	銅鏡	1		101		
	46	諏訪の前遺跡	包含層	銅鏃	2	弥生終末?	24・25		55
			表採	銅鏃	3	弥生終末?	26～28		
	47	小田原城跡八幡山遺構群	第1号竪穴住居址	銅鏃	1	古墳前期	29		56
			13a号住居址	銅鏃	1	古墳前期	30		57



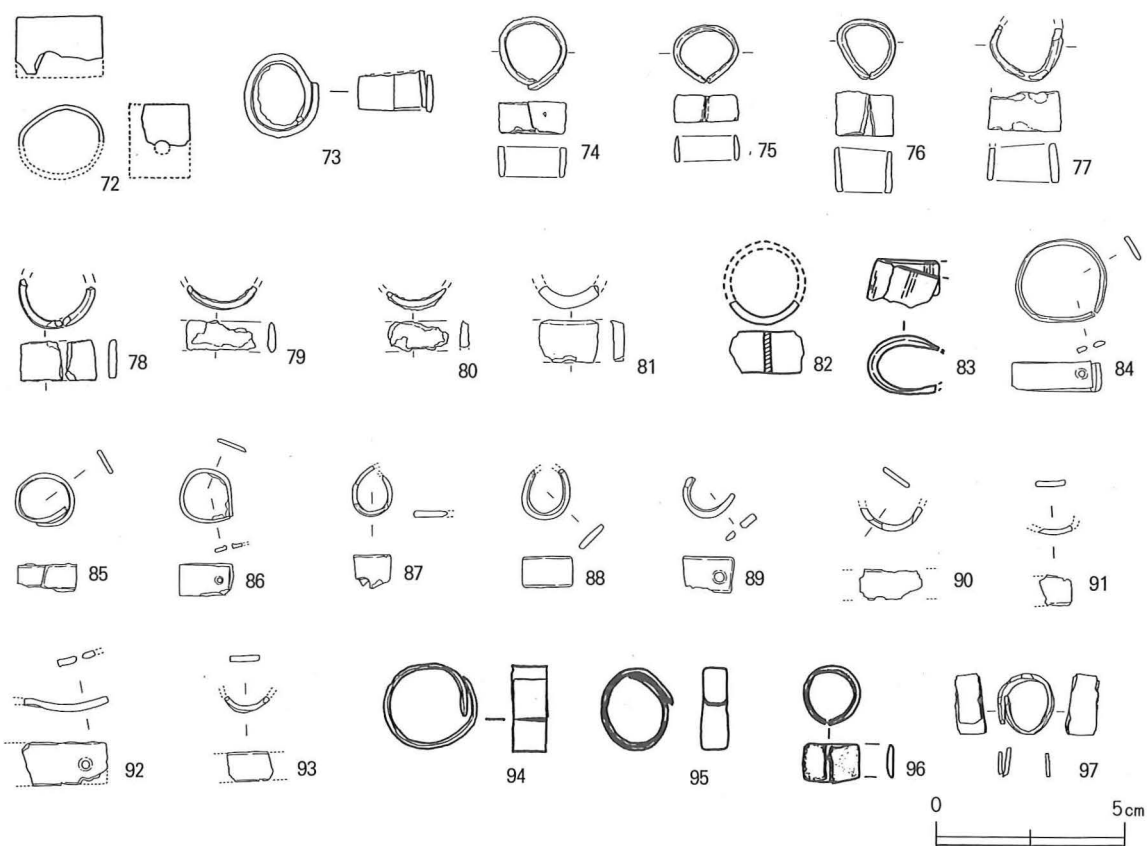
第2図 銅製品集成図(1)－銅鏡 [1/2]



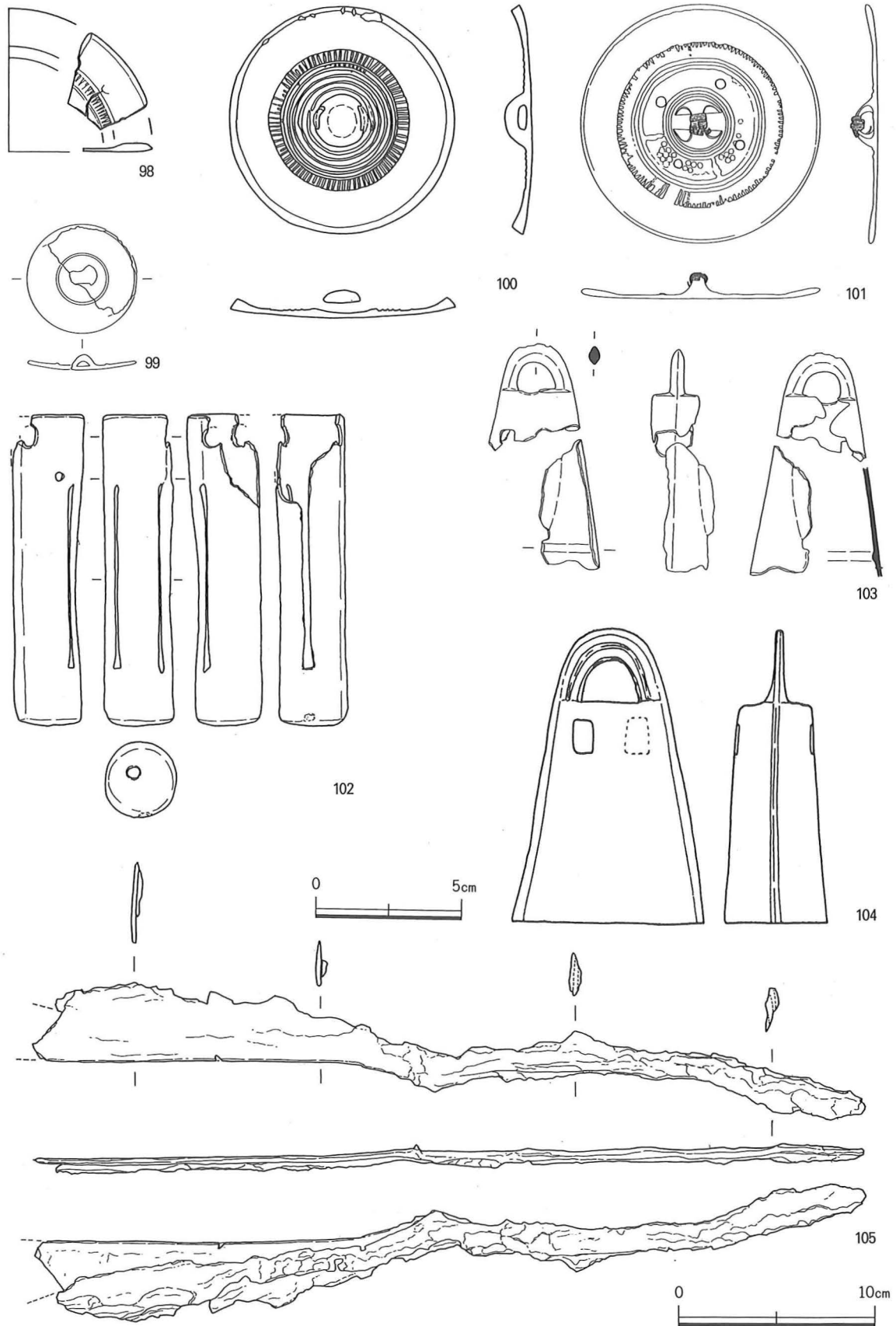
第3図 銅製品集成図(2)－銅釧① [1/2]



第4図 銅製品集成図(3)－銅釧② [1/2]



第5図 銅製品集成図(4)－銅環 [1/2]



第6図 銅製品集成図(5)ーその他の銅製品 [1/2・105のみ1/3]



第7図 銅鏃出土遺跡分布図 [六十万分の一]



第8図 銅釧出土遺跡分布図 [六十万分の一]



第9図 銅環出土遺跡分布図〔六十万分の一〕



第10図 その他の銅製品出土遺跡分布図〔六十万分の一〕

報告書等文献（番号は第1表の文献No.に対応）

1. 神澤勇一・川口徳治郎 1977 「梶山遺跡第4次発掘調査報告」『神奈川県立博物館発掘調査報告』第10号 神奈川県立博物館
2. 岡本孝之ほか 1980 『新羽大竹遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告5 神奈川県立埋蔵文化財センター
3. 田村良照ほか 1997 『関耕地遺跡発掘調査報告書』 観福寺北遺跡群発掘調査団
4. 国立歴史民俗博物館 1994 「共同研究「日本出土鏡データ集成」2-弥生・古墳時代遺跡出土鏡データ集成-」『国立歴史民俗博物館研究報告』第56集 国立歴史民俗博物館
5. 甘粕 健 1969 「横浜市稲荷前古墳群をめぐる諸問題」『考古学研究』第16巻第2号 考古学研究会
6. 河野喜映・宍戸信悟 1985 『山王山遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告8 神奈川県立埋蔵文化財センター
7. 近野正幸・畠中俊明 2006 『明神台遺跡・明神台北遺跡』かながわ考古学財団調査報告192
8. 岡田威夫ほか 1982 『横浜市道高速2号線埋蔵文化財発掘調査報告書 No.6遺跡-II No.9遺跡-I 1981年度』横浜市道高速2号線埋蔵文化財発掘調査団
9. 和島誠一編 1965 『三殿台』 横浜市教育委員会
10. 横浜市教育委員会 1970 『横浜市三殿台考古館収蔵品目録』
11. 鈴木敏弘 1972 『そとご遺跡調査概報』 そとご遺跡調査会
12. 浜田晋介ほか 2000 『下原遺跡』川崎市市民ミュージアム考古学叢書4 川崎市市民ミュージアム
13. 赤星直忠 1937 「神奈川県三浦郡吉井貝塚調査」『史前学雑誌』第9巻第6号 史前学会
14. 小出義治 1981 『住吉遺跡発掘調査報告書』 神奈川県土木部・住吉遺跡調査団
15. 大坪宣雄・鋤持輝久ほか 2003 『佐島の丘遺跡群発掘調査報告書』 佐島の丘埋蔵文化財発掘調査団
16. 中村 勉 1999 「三浦市赤坂遺跡」『月刊考古学ジャーナル 特集・三浦半島の考古学』 ニュー・サイエンス社
17. 赤星直忠 1975 『持田遺跡発掘調査報告書』逗子市文化財調査報告書第6集 逗子市教育委員会
18. 山本暉久ほか 1994 『池子遺跡群I No.2地点 No.1-B地点』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告27 神奈川県立埋蔵文化財センター
19. 山本暉久ほか 1997 『池子遺跡群IV』かながわ考古学財団調査報告26
20. 山本暉久・谷口 肇 1999 『池子遺跡群 No.1-A東地点』かながわ考古学財団調査報告45
21. 山本暉久・谷口 肇 1999 『池子遺跡群 X』かながわ考古学財団調査報告46
22. 大三輪龍彦 1981 『掘りだされた鎌倉 新発見の鎌倉遺跡と遺物展・図録』 鎌倉考古学研究所
23. 永井正憲 1984 『手広八反目遺跡発掘調査報告書』 手広遺跡発掘調査団
24. 継 実 1998 『若尾山（藤沢市No.36）遺跡-藤沢市立大道小学校内地点-発掘調査報告書』東国歴史考古学研究
所調査研究報告第16集 藤沢市立大道小学校内遺跡埋蔵文化財発掘調査団・東国歴史考古学研究
所
25. 合田芳正 1980 「関東地方の青銅製品について-大庭城遺跡発見の銅鏃をめぐって-」『考古学雑誌』第65巻第4
号 日本考古学会
26. 依田亮一・飯塚美保ほか 2010『小出川河川改修事業関連遺跡群III』かながわ考古学財団調査報告251 平成22年3
月刊行予定。
27. 小滝 勉・村上吉正 1992 『神崎遺跡発掘調査報告書』綾瀬市埋蔵文化財調査報告2 綾瀬市教育委員会・綾瀬市
史調査会・神崎遺跡発掘調査団
28. 宮井 香 2008 「河原口坊中遺跡（河川改修）」『年報15』 かながわ考古学財団
29. 小銅鐸以外の出土資料については担当者の加藤久美氏から情報提供を得た。
30. 伊東秀吉・大坪宣雄ほか 1995 『海老名本郷（X）』 富士ゼロックス株式会社・本郷遺跡調査団
31. 迫 和幸・中村哲也 2005 『宮の里遺跡発掘調査報告書』 玉川文化財研究所
32. 北川義明・山田不二郎 1998 「105 愛甲宿遺跡」『厚木市史 古代資料編（2）』 厚木市
33. 高杉博章 2001 『高森・宮ノ越遺跡』 玉川文化財研究所
34. 河合英夫ほか 2001 『成瀬第二地区遺跡群 下槽屋C地区第2・3地点 発掘調査報告書』 成瀬第二地区遺跡調
査会
35. 小出義治 1966 『伊勢原町三ノ宮下谷戸特殊配石遺構の概要報告書』 国学院大学三の宮遺跡調査団

36. 穴戸信悟・宮坂淳一ほか 2000 『三ノ宮・下谷戸遺跡 (No.14) II』 かながわ考古学財団調査報告76
37. 栗山雄輝・上原正人ほか 1996 「第13章 上ノ入遺跡第4地点・第5地点」 『南原B遺跡他』 平塚市埋蔵文化財シリーズ29 平塚市遺跡調査会
38. 大川 清・河野一也ほか 1988 『御所ヶ谷遺跡』 日本窯業史研究所報告第23冊 日本窯業史研究所
39. 安藤文一 1982 『桜畑遺跡』 桜畑遺跡発掘調査団
40. 丸山由紀子 1995 『五領ヶ台遺跡―第9地点―』 平塚市埋蔵文化財調査報告書第12集 平塚市遺跡調査会
41. 若林勝司・中島由紀子ほか 2003 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書3』 平塚市真田・北金目遺跡調査会
42. 若林勝司・中島由紀子ほか 2006 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書5』 平塚市真田・北金目遺跡調査会
43. 若林勝司・川端清倫ほか 2008 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書6』 平塚市真田・北金目遺跡調査会
44. 渡辺 務ほか 1999 「No.7 平塚市広川・公所遺跡群」 『第23回神奈川県遺跡調査・研究発表会発表要旨』 神奈川県考古学会
45. 穴戸信悟・加藤久美 2001 『原口遺跡II』 かながわ考古学財団調査報告104
46. 伊東秀吉・杉山博久 1986 「根丸島遺跡」 『秦野市史 別巻 考古編』 秦野市
47. 安藤文一 1986 『東田原中丸遺跡』 秦野の文化財第22集 秦野市教育委員会・東田原中丸遺跡発掘調査団
48. 斎木秀雄・降矢順子ほか 2002 『下曽我遺跡 永塚下り畑遺跡IV地点』 鎌倉遺跡調査会・下曽我遺跡発掘調査団
49. 杉山博久 1984 「小田原市千代光海端遺跡」 『西相模における古式土師器の研究 (資料編)』 小田原考古学会
50. 諏訪間順・手島咲子ほか 1999 『千代仲ノ町遺跡 第IV地点』 小田原市文化財調査報告書第69集
51. 島崎麻里・諏訪間順ほか 2006 『平成15年度小田原市緊急発掘調査報告書3 千代吉添遺跡第I～IV地点』 小田原市文化財調査報告書第137集 小田原市教育委員会
52. 佐々木健作・田尾誠敏ほか 2004 『千代南原遺跡第V地点』 小田原市文化財調査報告書第119集 小田原市教育委員会
53. 滝澤 亮・小池 聡 2007 『千代南原遺跡第VII地点』 株式会社盤古堂
54. 天野賢一・永井 淳 2006 『高田南原遺跡』 かながわ考古学財団掘調査報告199
55. 杉山博久 1981 『諏訪前調査報告』 平塚市神田大野遺跡発掘調査団
56. 小川裕久・河野喜映 1984 『小田原城跡八幡山遺構群』 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告5 神奈川県立埋蔵文化財センター
57. 天野賢一・飯塚美保ほか 2006 『小田原城跡八幡山遺構群III (第3次調査)』 かながわ考古学財団調査報告201

参考文献

- ①. 穴戸信悟 1986 「神奈川」 『弥生時代の青銅器とその共存関係 第三分冊』 埋蔵文化財研究会
- ②. 野澤誠一 2002 「銅剣・鉄剣からみた東日本の弥生社会」 『長野県立歴史館研究紀要』 第8号 長野県立歴史館
- ③. 林原利明 2001A 「神奈川県の青銅製品 (1) ―弥生・古墳時代前期集落関連遺跡出土品の集成―」 『西相模考古』 第10号 西相模考古学研究会
- ④. 林原利明 2001B 「神奈川県出土の弥生時代の青銅製品」 『シンポジウム 弥生後期のヒトの移動 ～相模湾から広がる世界～ 資料集』 西相模考古学研究会
- ⑤. 林原利明 2002 「神奈川県の青銅製品 (2) ―弥生・古墳時代前期集落関連遺跡出土品の追加資料、古墳前期までの墳墓出土品、前期古墳出土銅鏡の集成―」 『西相模考古』 第11号 西相模考古学研究会